

① 件 名				
D X 推進に向けたデジタルツールの活用促進について				
② 施策等を必要とする背景及び目的（理由）				
【背景】 庁内では、これまで業務効率化等を目的に複数のデジタルツールを導入しており、利用が浸透しつつあるものの、まだ一部で活用が進んでいない状況も見受けられており、D X を推進するためには、日常業務の中で職員がデジタルツールを使いこなす体験を積み重ねることが重要であり、庁内全体への活用拡大と定着が課題となっている。 【目的】 導入済みツールの活用状況を共有し、日常業務におけるデジタル化を促進することで、全庁的な業務効率化と D X 推進に向けた実行性のある取組への意識向上を図る。				
③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性				
【根拠法令】 ・官民データ活用推進基本法（平成 2 8 年法律第 1 0 3 号） ・情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律（平成 1 4 年法律第 1 5 1 号） ・デジタル社会形成基本法（令和 3 年法律第 3 5 号） ・自治体 D X 推進計画【第 3. 0 版】（令和 6 年 4 月 2 4 日） 【個別計画との整合性】 石巻市 D X 推進計画 4 取組事項 A-② オンライン申請拡充、B-① I C T を活用した業務の効率化の推進				
④ 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）				
令和 2 年 9 月 A I-OCR ツール利用開始 令和 3 年 4 月 R P A ツール利用開始 令和 5 年 4 月 入力フォーム作成ツールの庁内アカウント付与・利用開始 令和 6 年 5 月 音声認識（文字起こし）ツール利用開始 令和 6 年 7 月 ウェブ会議システムアカウント利用開始 令和 7 年 2 月 石巻市 D X 推進計画策定 令和 7 年 5 月 D X 推進員の拡充				
⑤ 主な内容				
(1) 導入済みのデジタルツールについて、各部署における更なる活用を促進するものとする。				
ツール名	活用部署数	利用件数	業務削減時間の平均	活用例
音声認識（文字起こし）ツール（A m i V o i c e）	50 課	564 件	6.3 時間／件	会議音声の文字起こし、議事内容の要約
A I-OCR	6 課	7 件	42.9 時間／件	紙帳票のデジタルデータ化
R P A	1 課	1 件	27 時間／件	繰り返し業務の自動化
入力フォーム作成ツール（L o G o フォーム）	47 課	279 件	6.7 時間／件	市民・職員からの申請・回答収集の電子化
ウェブ会議システムアカウント（主催用 Zoom）	4 課	—	5.3 時間／課	オンラインによる会議・説明会の開催、打合せの実施
※令和 6 年度実績				

(2) 今後のD Xの具体的な実践として、施設予約のオンライン化に向けた取組を進めており、その一環としてトライアル利用を開始することとしている。この実証により得られた効果や課題を整理し、更なるオンライン化の実装を進めていく。 【トライアル利用について】 ・利用期間：令和7年8月から10月まで（予定）※延長の可能性あり ・対象施設：山下屋内運動場（担当：市民生活部スポーツ振興課） ※宮城県が導入しているデジタル身分証アプリ「ポケットサイン」との連携により運用を予定している公共施設予約システムについて、宮城県がトライアル参加自治体を募集して実施するもの
⑥ 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。） 【影響・効果】 ・職員のデジタルツール活用に関する理解の促進 ・定型業務の効率化による時間の創出 ・D X推進に向けた庁内体制・風土の醸成
⑦ 他の自治体の政策との比較検討
⑧ 今後の予定及び施行予定年月日 ・昨年度に引き続き、グループウェアにおいてデジタルツールの紹介、便利な利用方法、活用事例等を周知する。 ・令和7年6月9日にD X推進員を対象とした研修会を開催する。 ・随時、デジタルツールを実体験する場を提供する。
⑨ その他